

(仮称) 第2次大田区環境基本計画 骨子案

2024年（令和6年）3月

(包含計画)

- ・大田区地球温暖対策実行計画（区域施策編）
- ・大田区生物多様性地域戦略
- ・大田区気候変動適応方針
- ・大田区食品ロス削減推進計画

(仮称) 第2次大田区環境基本計画 構成案

はじめに (区長メッセージ)

1 基本的事項

- (1) 計画の目的及び位置付け 区の施策を環境という視点から整理・体系化するとともに、区が策定する個別計画や事業等に対して、環境の保全に関する基本的方向性を示す。
- (2) 計画期間 2025年度（令和7年度）から2030年度（令和12年度）まで
- (3) 計画の対象地域 大田区全域
- (4) 対象とする環境の範囲 生活環境、自然環境、産業環境、快適環境、循環型社会、地球環境、環境保全活動
- (5) 関連法令・計画 新たに大田区食品ロス削減推進計画を包含する。区のSDGs未来都市の取組と連携。
- (6) 区の環境を取り巻く動向
- (7) 区の環境の現状と課題

2 区の方針

- (1) 大田区が目指す環境像 環境と生活・産業の好循環を礎とした持続可能で快適な都市（まち）
- (2) 3つの目標達成 (仮)「脱炭素社会への移行・自然再興の取組・循環経済への移行」
(令和6年度に具体化)

3 実現のための取組

- (1) 施策体系と進捗管理指標
- (2) 各施策とロードマップ

4 計画の進行管理

- (1) 計画の推進体制 大田区環境審議会：区の環境基本計画及び環境の保全に関する基本的事項の調査審議
おた環境基本計画推進会議：庁内関係部局の連携体制
- (2) 計画の進行管理 指標（KGI、KPI、モニタリング）整理＝PDCAの再構築（令和6年度に具体化）

3つの目標達成

パートナーシップの推進

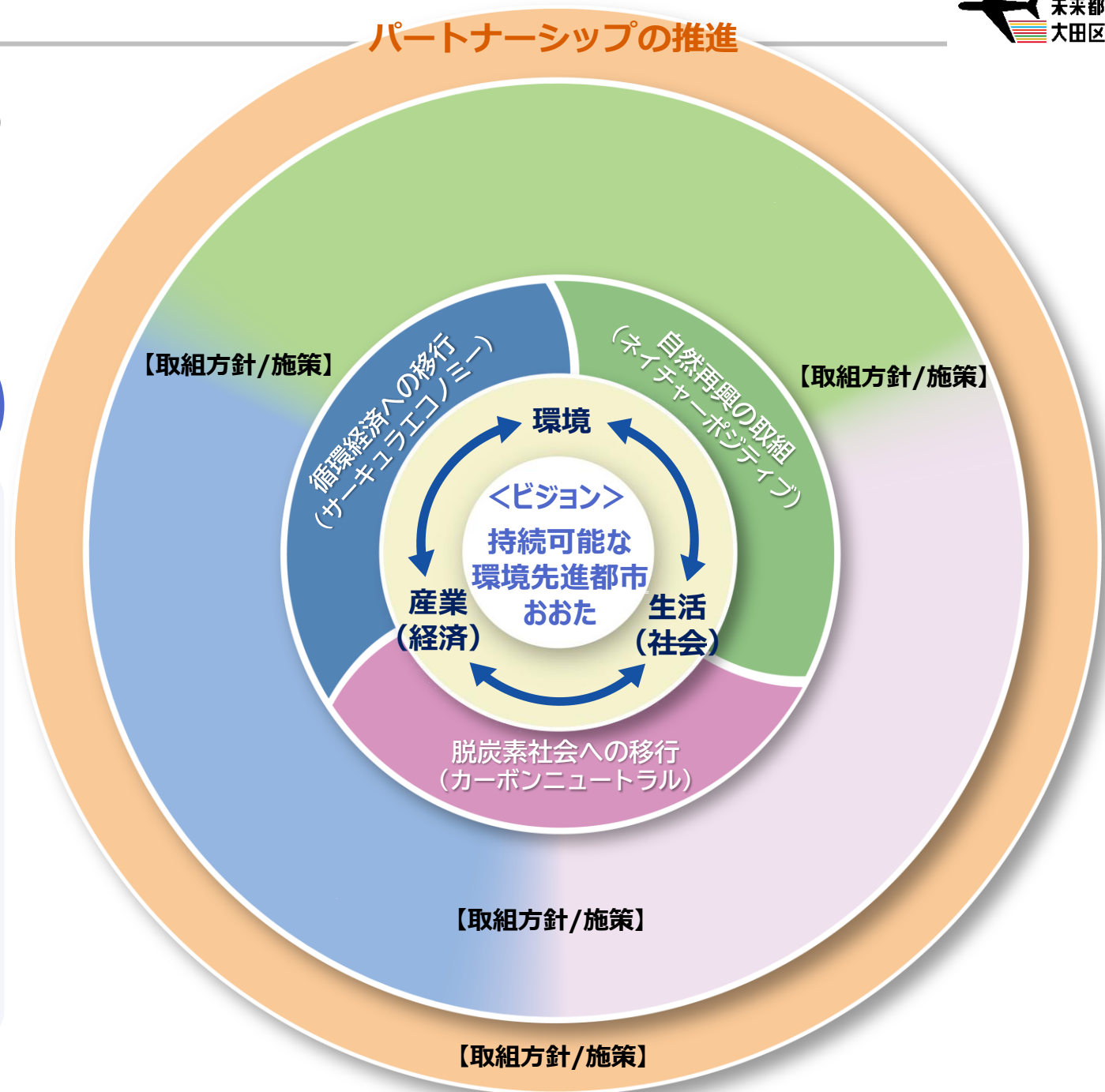
区が目指す環境像（ビジョン）の
実現に向けて、
パートナーシップを土台として
3つの目標達成を目指す

持続可能なまちへの移行を
実現する3つの目標達成

【目標達成】

- 脱炭素社会への移行
(カーボンニュートラル)
- 自然再興の取組
(ネイチャーポジティブ)
- 循環経済への移行
(サーキュラーエコノミー)

これら3つの目標達成を通して、
環境・産業・生活の好循環を実現する
「持続可能な環境先進都市おおた」
を築いていく。



施策体系 整理の方向性

- 現行計画の5つの基本目標は、目的を共有し、相互に関連し合うものも多数ある。
- 3つの達成目標をもとに再整理し、わかりやすく区の環境に関する施策の全体像を示す。
- 環境・経済・生活の好循環を目指し、環境基本計画として主体的に取り組んでいく施策・取組を今後体系づけていく。



脱炭素社会への移行 (カーボンニュートラル)

～温室効果ガス削減～

KGI (目標達成指標)

【取組方針】 ※現行計画基本目標より

- 脱炭素ライフスタイルへの転換 (B-1)
- 脱炭素まちづくりの推進 (B-2)
- 区役所による率先行動 (B-3)
- 3 R + Renewableの推進 (E-1)
- さらなるごみの適正処理推進 (E-2)



自然再興の取組 (ネイチャーポジティブ)

～生物多様性への負荷削減～

KGI (目標達成指標)

【取組方針】 ※現行計画基本目標より

- まちを彩り心を潤す緑事業 (C-1)
- 水と緑のネットワークの構築 (C-2)
- 生物多様性の保全・再生 (C-3)
- 美しい都市環境の創造 (D-1)
- 環境保全対策 (D-2)



循環経済の移行 (サーキュラーエコノミー)

～必要不可欠な資源のより良い管理～

KGI (目標達成指標)

【取組方針】 ※現行計画基本目標より

- 美しい都市環境の創造 (D-1)
- 環境保全対策 (D-2)
- 3 R + Renewableの推進 (E-1)
- さらなるごみの適正処理推進 (E-2)



パートナーシップの推進

【取組方針】 ※現行計画基本目標より

- 環境にやさしいライフスタイルへの転換 (A-1)
- 区民等・事業者・行政の連携強化 (A-2)
- 活動意欲の創造 (A-3)

• B～Eの各基本目標における普及啓発等の事業

次期計画

指標

- ・3つの目標ごとにKGIを設定
- ・目標と施策のつなぎとなる新たな指標のあり方を検討

3つの目標

- ・脱炭素社会への移行
- ・自然再興の取組
- ・循環経済の移行

KGI (目標達成指標)

具体的な成果

- ・区民満足度・関心度の向上、行動の変化
- ・温室効果ガス排出削減、ごみ排出削減
- ・生物多様性の豊かさ向上
- ・ごみ排出削減 等

取組方針/施策

新しい指標 (検討)

複数事業の結果を総合的に評価

- ・複数のKPIを基に進捗度を算出 (例)

取組(年度)

- ・目標達成のための具体的な事業

KPI(年度) (業績評価指標)

事業の成果

- ・イベント実施回数、参加者数
- ・設備等助成件数
- ・施設整備件数 等

年次で事業の新陳代謝を図る。

調査(計画年)

- ・施策を評価・検討するために必要な情報収集

モニタリング

現状の把握

- ・世論調査
- ・実態調査
- ・定点観測 等

基本計画

行動計画
(年次)